

令和5年11月 わくわくたべもの集会指導案

保育園 4・5オクラス 名 11月 日()

1. テーマ : 残さず食べよう

2. ねらい : 自然の恵みと働くことの大切さを知り、感謝の気持ちを持って食事を味わう
 <食と人間関係><いのちの育ちと食>

3. 展開

時間	主な内容と活動	配慮事項
	○挨拶 今月の内容を伝える。	
導入	1. 給食について思い出させる。 2. 給食を残していないか思い出させる。	○給食には色々な食材が使われている事を思い出させる。 ○日頃の様子を思い出させる。
展開	3. 紙芝居(きこえたね！いただきます)5分程度	
	4. 給食が出来るまでの流れを確認する。 ①食材を作る人(農家・漁師等) ②食材を運んでくれる人(八百屋・肉屋・魚屋等) ③給食を作る人(調理員・栄養士) ④給食を運んだり・準備する人(先生等)	○給食が出来るまでに、多くの人に関わっていることを理解させる。 ○食べ物の命をいただいていることを理解させる。
	5. 「いただきます」「ごちそうさま」の意味を確認する。	○自然の恵みや食事が出来るまでに関わってくれた人に対する感謝の気持ちを表す言葉であることを理解させる。
	6. 残さず食べることの大切さを確認する。	○食べ物を大切にし、残さず食べることが、感謝の気持ちを表す方法であることを理解させる。
	7. まとめ ①食べ物の命をいただいていること、給食が出来るまでに多くの人に関わっていることを再確認する。 ②「いただきます」「ごちそうさま」の意味を再確認する。 ③感謝の気持ちをもって残さず食べることの大切さを再確認する。	○給食だけでなく、食事が出来るまでには多くの人に関わっており、家でも、感謝の気持ちを持ち、残さず食べるよう伝える。
	○終わりのあいさつ	

※ほいく課が使用するもの：
紙芝居(きこえたね！いただきます)、おやこシェアカード

※園にて用意していただきたいもの : 子ども用机1台